

中部シニアライフアドバイザー会

SLA 通信

中部SLA協会 総務委員会広報部会
〒460 名古屋市中区正木1-2-8
(財)シニアルネサンス財団内
TEL 052-332-7883

Something New Significance

(財)シニアルネサンス財団
会 長 喜多村 治雄

10月2日、中部SLA協会の創立1周年記念の会がシャムピアホテルで開かれ、河合事務局長と共に出席させていただきました。ウィークデーの昼間であったにも拘らず会員の1/3の方が出席され和やかに、かつ賑々しく進行していきました。会長はじめこれを準備された役員の方々のご努力、司会者の巧みな捌き、それとそのムードに乗っていかれた参加者のご協力の賜に違いありません。さわやかで気持ちのよい会合でした。

その中で私は「中部が軌道に乗ったな」と感じていました。参加者全員が1分間スピーチをされました。皆さんとても馴れておられると見え、聞きごたえがありました。いろいろの発言の中で“私は何かをやりたくてSLAになりました”とか“何かをやり始めました”“何かをしようと思っています”という内容のものが沢山ありました。私が中部が軌道に乗ったなと感じたのはその事のためです。

Something New Significance — 人生の後半に来て大切な自分の人生に忘れ物をしないために常に何かを求める、見つけていく心意気が一番大事だからです。

実は、皆さんの簡単な、しかし実のあるスピーチを聞きながら私は、ペスタロッチ（スイスの教育学者、1746～1827）のある箴言を思い出していました。

「人間は自然の作品であり人類の作品であるが同時に自分自身の作品である」正確な訳ではありませんが内容に誤りはないと思います

我々、人間 — 私でもよい — はどうしてここに、こうして生きているのか？自問して

も中々答えは出ません。神あるいは、創造主が作ったと言う人もあるかも知れませんが、すべての人が納得できるのは「自然」の中で生まれたと言うことでしょう。

人間は自然の作品です。だが何故、牛や馬でなく人間なのかとなると、これも中々分かりません。彼の言うように、とにかく人類という生き物が私を作ったのです。その先は、彼の言葉にはありませんが、何故アメリカ人でなく日本人かと問われれば、日本人という人類（社会）が作ったのだと言うほかはないでしょう。

人間は自然の、人類の（そして社会の）作品なのです。けれども何故に他人ではなく自分なのかと言うことになると — ここが重大なのですが — それは自分自身が作ったものと言わざるを得ません。彼の言うように、自己の作品であります。自分と言うものを、考え、育て、作り、大成させていくのは誰でもない自分自身だということです。

話をもとに戻します。人生80年という、前代未聞の長い人生、ひょっとすると嫌になる位の長いシニア期が含まれていると思うのですが、このシニア期を活用して自分自身という作品を、見事にすばらしく仕上げるのは結局はあなたです。

神や人、社会だのみでなく、自分自身だのみで、Something New Significanceを求め続けることだと思います。

私は、皆さんの1分間スピーチを聞きながら、こんなことを考えていました。

中部SLAの方々のご活躍をお祈り申し上げます。

〇〇〇 熱気あふれる 電話相談実務研修会 〇〇〇

9月3日、高砂殿名古屋駅前店で、新たに相談実務につくSLAのための研修会が、財団主催で開催され、41人が参加しました。今年度は協会が講師を派遣1年の経験を基に、実務を中心に講習を企画、中身の濃い研修会となりました。

〈あいさつ〉 河合和財団事務局長
電話相談は1日2人なので、活動時間も短く、SLAがその実務のなかで、力をつけることはむづかしい。そのため、相談の場に臨むときには、研修機能を利用して、完璧なところまで高めておく必要がある。

同時に相談業務の広報活動もSLAの重要な活動であり、それを通じてSLAの存在をPRすることも大切である。

また、こうした受身な活動にとどまらず中高年の自助自立を促すというSLA本来の役割を、生き生き教室などをおして、はたすことがのぞまれる。

〈研修内容〉

- 1.相談実務と情報収集について 深見正子
相談件数の減少はPR不足である。
相談の窓口 → 高齢者相談Q&Aの活用
- 2.SLA電話相談に対する心構え 長 計
言葉づかいは心づかい → 言葉は心を表す手段にすぎず、本来は心が中心である。
- 3.相談の基本的な手法と相談員としての態度 山下可子 深見正子
ロールプレイング：電話の受け方実例
相談員として望ましい態度：
傾聴 受容 共感 援助 共有 共生
- 4.事務処理の方法について 松村 坦
相談業務就業時の手順と記録用紙記入方法
- 5.分科会および受講生発表：電話相談実務
山下可子グループテーマ 人間関係
松村 坦グループテーマ 地域福祉
深見正子グループテーマ 法律関係
外山晴美グループテーマ 老人福祉

〈おねがい〉

住所変更・退会・休会届について

総務委員会

事務手続きの徹底を図るため、各種届を提出されるときは、右の様式に従ってその旨を文書（はがき可）で、下記までご連絡ください。

〒460 名古屋市中区正木1-2-8
互助会ビル4F
(財)シニアルネサンス財団内
中部シニアライフアドバイザー協会
会 長 宛

住所変更届

年月日

X月X日をもちまして、
下記の住所に変更になりましたのでお届けします

名前

SLANo.

新住所

旧住所

電話

理由

(書式本 退会・休会届もこれに準じます)

地域委員会便り

✦ 地域部会スタート ✦

≒ 全体会議 11月26日 ≒

地域活動推進の母体となる地域部会のスタートにあたり、9月末、会員に希望地域についてのアンケート調査にご協力いただきましたが、下記のような会員分布になりました。全体会議には是非ご出席下さい。詳しくは、地域部会のご案内をごらんください。

部会名	(2期生) 名	(3期生) 名	(計) 名
名古屋北部会 (名古屋市内、北方面)	18	13	31
名古屋南部会 (名古屋市内、南方面)	19	13	32
愛知尾張部会 (愛知県、尾張方面)	14	13	27
愛知三河部会 (愛知県、三河方面)	8	10	18
三重部会 (三重県下)	7	6	13
岐阜部会 (岐阜県下)	4	4	8
134通129名入部 (5名入部延期)	70名	59名	129名 (10月25日現在)

未加入の方は、地域委員
までご連絡ください。

田中 照夫 (0568-73-3015)
井上サエル (0587-59-8585)
加藤 清 (0593-37-0311)

〇〇〇〇〇〇〇 談話室開設のお知らせ 〇〇〇〇〇〇〇

新しく開設された談話室は、会員に気軽にきて頂き、日頃考えている事、協会活動への要望または、気が付いたこと、自己紹介で充分話し足りなかつたことなど…お茶でも飲みながら、本音で親しく語り合う場と考えております。地域委員が、輪番でお待ちしています。

1. 場 所 名古屋市港区大江町3番12 (中部火力発電所エントツ目印)
(株)テクノ中部 6F談話室 (エレベーターすぐ前)
TEL.052-514-7171(代) 談話室には、直接つながりません
2. 交通機関 市バス 金山、神宮前より塩見町行き乗車—大江町下車
(金山総合駅始発 北口3番乗場) 所要時間約15分、徒歩約7分
3. 日 時 原則として、各月第1月曜日 AM. 10:00~PM. 5:00
4. 常駐担当者予定 11月6日 井上、 12月4日 田中、 1月8日 加藤

GERONTOLOGY 勉強会に参加して

3期生 後藤雅子

9月の箱根にしては珍しく異常高温のなか勉強会が始まりました。全国から110人の参加があり、うち10人が、中部SLA協会のメンバーでした。

初日。仙石原の美しい自然にどっぷり浸かり、落ち着いた色調の部屋に入るとすっかりリゾート気分……身を引締めてレジメに目を通しました。

昼食もそこそこに3講座が始まりました。その道の専門家から生で講義が聴けるということは、大きな魅力でした。

1972年、有吉佐和子著「恍惚の人」が世に出て、老いそして女性の生き方にも問題を提起し、私たちが物から心へと関心を移しはじめたという、浜口先生の声に、「そう！ そうだった」との声が囁かれました。

菅野先生のカウンセリング講義は、現場からの声ということもあり、生き生きとした、人を納得させるものがありました。

クライアントの存在をまず肯定し、心にエネルギーを与え、またカウンセラーの躰きの中に宝があるなど、説得力のある話でした。

夕暮迫る山に向かって一呼吸……そして「ジェロントロジー序論」。今回の研修の山場と期待しました。

この学問は未知数、未消化の部分が多いと思いましたが、「長寿社会でいかに良い人生を送るか、そのための準備は若年から」——そうした姿勢で、老化の過程、様相を研究す

る学問と解釈しました。

ウーマンリブの先駆者、フリーダム女史の「老人は廃品ではない。老いへの恐れを捨て冒険しなさい」との画期的な見解にはエールを送りました。

夜は講師と受講生が一堂に会して、和やかな懇親会、他県の方々の活躍ぶりを伺ったりお楽しみゲームに興じたりして、交流を深める絶好の機会でした。

翌日の1時限は「身の癒し」、心の持ち方と病気、人と競わず、気に入った趣味、スポーツに打ち込む大切さを学びました。健康面では60歳以降喫煙をしても身体への害は少ないという話に、「やった」という声、一同大笑いでした。

喜多村会長の物とお金の学問だった経済学が人口構造の激変で人口問題に注目するようになったとの講義は新鮮なショックでした。

朝9時から夕方4時までの講義に、体力気力共に心配でしたが、気分転換のための芦ノ湖畔での昼食など、きめこまやかな心くばりに、無事乗り切ることができました。

3日目は観光バスツアー、深い霧も晴れて素敵なお若い事務局の方のご案内で、予定通り観光を楽しみ、車中の話もはずみしました。

受講生が求めていたことと、講義の内容と多少ずれがあった部分で、不満も出ましたが総じて今後の人生の一つの指針を与えられ、たくさんの刺激と収穫を得た勉強会でした。

SLAット (スラット) 広場投稿原稿募集!

会員の声を掲載し、なごやかな紙面を目指していきたく思います。幅広くご投稿ください。電話相談室内 総務委員会広報部会宛

広報部員募集

ワープロのできる方、会報の編集にご協力をお願いいたします。

連絡先 総務委員会委員長 山下可子

編集後記

8月から10月までの協会活動と今後の予定を盛り込みました。諸般の事情で活字ばかりのため、読みづらいとは思いますが、協会の情報把握と活動の理解のために、ぜひ目を通していただき、各自のSLA活動プランをたてるのにお役立てください。

総務委員会広報部会